

みんなで作ろう！図書館、文化ホール、郡中地区公民館 建設市民ワークショップ通信

発行：伊予市役所産業建設部都市住宅課庁舎建設室 TEL：089-982-1111 内線581

5月24日（日）の午後、郡中地区公民館にて、第10回「みんなで作ろう！図書館、文化ホール、郡中地区公民館建設市民ワークショップ※1」を開催しました。参加者は24名でした。

最初に（株）山下設計から、ワークショップの結果を整理し、設計案で実現できたこと、実現できなかったことの説明がありました（p2～）。そして副市長（市長代理）に、建設市民ワークショップの成果と基本設計案を手渡しました。そして副市長より、施設に対する市長のメッセージが伝えられました。次に、まちなかにある地域資源の現状と魅力について、地元で活動している方から、活動の概要と今回の施設計画との関連性について発表がありました（p4）。休憩の後、グループごとに、施設のオープンに向けた市民の行動計画を話し合い、全体の場で結果を発表しました（p5～）。参加者一人一人から、ワークショップに参加して感じたことなどをお話ししていただいた後（p9～）、施設計画に対する思いを「市長へのメッセージカード」にご記入いただき（p11～）、全10回のワークショップを終了しました。

予定されたワークショップは全て終了しましたが、市長からのメッセージを含め、多くの方から「これからがスタートである」という主旨の発言をいただきました。開館までの3年間はあっという間です。10回のワークショップで培った市民同士、そして市民と行政との信頼とネットワークを活かし、これからも市民の皆さまが関わっていくことが大切だと思いますので、この流れを止めることなく繋げていきましょう。

それでは本号で最終号となりますが、第10回ワークショップ通信をお届けします。

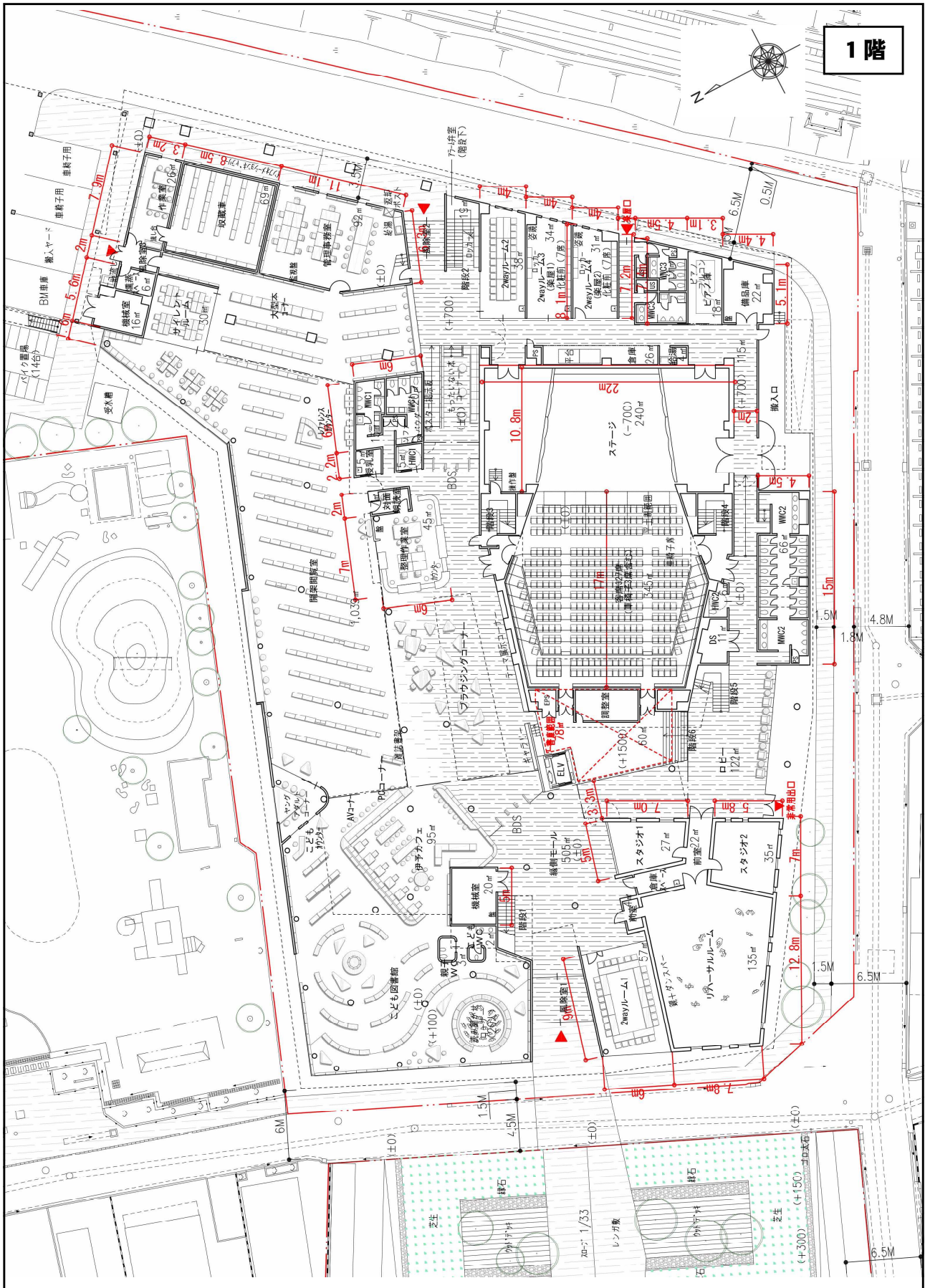
全体スケジュール

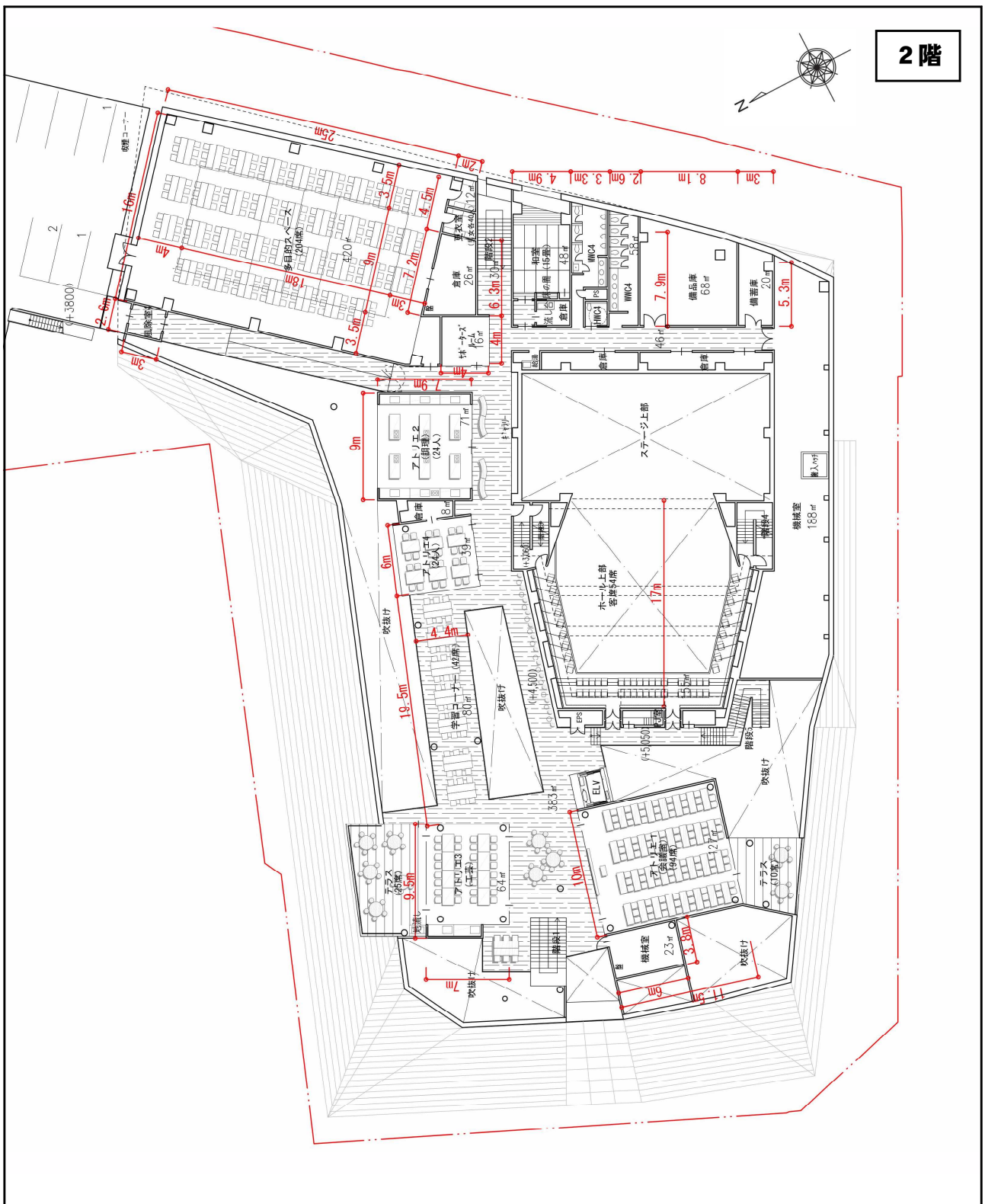
- | | | |
|------|---------------------|--|
| 基本設計 | 第1回 2014. 6. 22(日) | ・まちと施設の素敵な関係を考えよう！ |
| | 第2回 2014. 7. 13(日) | ・文化活動の現状を知り、3つの施設空間の検討課題を考えよう！ |
| | 第3回 2014. 8. 31(日) | ・3つの施設空間の提案を確認し、「文化ホール」についてじっくり考えよう！！ |
| | 第4回 2014. 9. 21(日) | ・文化ホールの魅力づくりと運営を考えよう！ |
| | 第5回 2014. 10. 19(日) | ・図書館と公民館について考えよう！
～複合施設のあるべき姿を考える～ |
| | 第6回 2014. 11. 9(日) | ・図書館と公民館について考えよう！
パートII |
| | 第7回 2014. 11. 30(日) | ・基本設計案を現地で原寸確認しよう！
※8月10日中止による振替 |
| 実施設計 | 第8回 2015. 2. 22(日) | ・基本計画案を最終確認し、実施設計の検討事項を話し合おう！ |
| | 第9回 2015. 3. 22(日) | ・実施設計に向けた変更事項を検討しよう！
・まちなかの拠点となる施設のあり方を考えよう！ パートI |
| | 第10回 2015. 5. 24(日) | ・実施設計に向けた設計案を最終確認し市長さんに手渡そう！
・まちなかの現状を理解し拠点となる施設のあり方を考えよう！ パートII
・市長さんに市民の思いを届けよう！ |
| 解体 | 2016. 5月 | 郡中地区公民館解体 |
| | 2016. 9月 | 工事着工 |
| 工事 | | 2018年11月オープン予定 |

※1 ワークショップ…さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場

実施設計に向けた最終案を説明します

設計者より、ワークショップで話し合った成果の結果を整理し、最終案を説明してもらいました。





設計の安田さん

縁側モールが建物の中心にあるのが大きな特徴で、その縁側モールが広場に延び、町とつながるイメージで全体を考えている。また外周部の軒の高さを約2.7mに抑え、住宅地の真ん中でも圧迫感の少ないデザインにしている。図書館、公民館、ホールの3施設を分離するのではなく、公民館機能で施設全体をつなぐことを基本的な考え方にしており、いろいろな目的で使える、単なる会議室ではない諸室を配している。

市長さんにワークショップの成果を報告します

副市長さんにこれまで10回にわたって検討してまとめた基本設計案を手渡した後、施設に対する市長さんのメッセージをお聞きしました。

～市長さんからのコメント～

昨年の6月22日から本日までの長きにわたり、そして10回もこの席にご出席の上、たくさんの貴重なご意見、ご提言をいただきながら基本設計を進めて参りました。いよいよ本日、皆様から基本設計をご報告いただきましたことを、この場をお借りいたしましてお礼を申し上げます。ありがとうございます。今後、いただいた設計を真摯に受け止め、具体化させるため日々精進をして参る所存でございます。ただ本施設の成功は我々行政の努力だけではなし得ることはできません。それは市民の皆様が積極的に関わることによって初めて成し遂げられるものだと考えるからでございます。同時に厳しい財政状況の下、限られた予算という冷厳な現実を踏まえながら持続可能な施設にしていきたいと考えております。言い換えますならば、身の丈に即した施設ということに相成るわけでございます。そこで皆様には本施設の運営に対し、積極的に関わっていただきますよう、改めてお願い申し上げます次第でございます。そうすることによりまして、本施設のポテンシャルが最大限発揮され、市民の皆様にとっていつまでも親しまれる施設になることが出来るはずでございます。皆様におかれましては今後も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



参加者から、副市長さんへ基本設計案を手渡しました。

まちなかの現状について理解し、まちなかを活かす拠点活動のヒントを考えよう

まちなかにある地域資源の現状と魅力について、地元で活動している方から活動の概要紹介と、今回の施設計画との関連を提案してもらいました。

●文化創造からまちを元気にする、出会い場

出会いの場、コミュニティの再構築という機能が求められている。この文化施設を上手く使いこなして後世につなげなければ町の再生もないし、コミュニティの再生も遅れてしまうかもしれない。

人が出会うことによって文化も出会う。人や町や文化の循環を生みだし、地域に開かれたネットワークを作っていく「広場」でないといけない。

●伊予らしさの創造

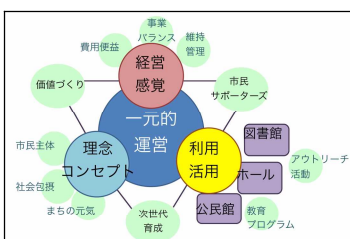
伊予らしさを発信することも重要な役割である。また後世に引き継ぐ町の宝として、市民や学校や子ども達の参加による調査、発掘が必要である。

●生きがいと誇りをもつ市民サポーターズ

友の会、NPO法人、ボランティア組織等を結成して、施設をサポートする担い手づくりが急務である。

また伊予市らしい市民参加、協働のあり方を探るため、様々な地域の意見の集約が必要である。

●施設とまちをつなぐ一元的な運営体制づくり



●複合文化施設への要件

1. 複合化の利点を生かし、折々のテーマを図書館・文化ホール間で展開
2. 利用団体意見を踏まえた運用
3. まちとの連携
4. 周辺の文化施設と連携した広域的な文化活動支援のネットワークづくり



文化協会の武智さん

●まちなかサロンの展開

旧広島銀行、旧朝日生命の跡地もサロンとして活用し、日々の活動の発表の場として文化施設を活用するやり方もある。今回の文化施設の活動が活気づくことで、町にも様々な施設が必要だという気運につながると良い。また昔の井戸端会議のようなコミュニティが復活できたら良いと思う。

●歩きたくなるまちづくり

文化施設で完結するのではなく、町の中に往来が出来る仕組みが大事だと思う。灘町通りと裏通りの空き地は有効活用が出来ていない。そこを楽しい場所にしていけば、人も集まってくるのではないかな。

●ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂^{※2}）

ヨーロッパでは早くから公共施設の役割として、居場所のない方をすくい上げていくことが「劇場法」に定められている。ここでも文化芸術の愛好家だけでなく、マイノリティ^{※3}の方を含めた、あらゆる市民層に文化を届ける社会的包摂の場としたい。


※2 社会的包摂…国民一人ひとりを社会の構成員として取り込むこと

※3 マイノリティ…社会的少数者


施設のオープンに向けて市民ができることを話し合おう

3年後の施設のオープンに向けて、市民自身ができること（市民行動計画）についてグループで話し合い、全体の場で発表していただきました。

1 グループ

27年度	<ul style="list-style-type: none"> ●施設の理念の徹底!! ●各活動の人、グループの利活用に対する問題点を集約する場が必要 ●利用計画に基づく運営協議会の設置をしては? ●各層による代表による運営についての意見発表の場を設ける。 →文化協会、愛護班、PTA、老人会、民生委員、区長会etc. ●建設中は公民館活動をする場所がなくなる。場の提供はあるのか? 	
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ●伊予農高の意見を聞く。 ●各校区別に幼稚園、保育園、小学校、中学校の子どもと保護者の意見を聞く。 ●各事業活動が理念に合っているのかのチェック。機能、組織 	★条例の制定
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ●オープニングイベントの開催!主に文化祭 ●事業化に伴う予算化を! 	
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ●オープニング記念イベント ●計画的なイベントの実施を!(数年にわたる) ●利用者へのサポートシステムを!(幼児の受け入れなど) ●子ども達に関われるイベントを各校区から募集する。 	

2 グループ

27年度	<ul style="list-style-type: none"> ●連携をスムーズにする仕方はどの様にするのですか? ●市民にどのようにお知らせするのですか? ●郡中公民館の利用者がそのまま新施設を使えるとは思えない。今から調整する必要あり。 ●「管理運営実施計画」を市民の声を取り入れてつくり上げる(全国事例、学習なども)。 ●開館前の事業計画=市民参加を育てていく。 ●土壌づくり=鑑賞事業(初心者でも親しめるコンサート、まちなかイベント、地域の文化、図書館事業、ファミリーで楽しめる、質の高いイベントも。文化セミナー、講座など) 	
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ●土壌づくり→種まき→芽を育てる [種まき] 小学校全校規模で鑑賞教室、アウトリーチ※4 [芽を育てる] 市内各施設でワークショップ ●複合施設を運営する職員を今から養成する必要がある。 ●開館前の人材育成=市民の協力、参加 <ol style="list-style-type: none"> ①サポーター、ボランティア育成 ②専門家と連携した図書館、ホールなどの企画、実務などを担う市民の育成 ③「友の会」などのサポート、組織の育成 	
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ●土壌づくり [種まき] 多様なジャンルで大学、学生との連携 [芽を育てる] 学校などでのワークショップ ●開館前事業の開催、準備。既存施設、学校、各地域で行う。市民を公募する。PR、アウトリーチなど。 	
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ●土壌づくり [種まき] 参加体験型プログラム [芽を育てる] 参加型ワークショップ ●開館記念事業の準備 	

※4 アウトリーチ…公的機関、公共的文化施設などが行う地域への出張サービス。例えば公共ホールがプロのアーティストを地域の学校や福祉施設に派遣してワークショップ、ミニコンサートなどを行う普及活動

27 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●まちなか活性化立案と実現へ。 ●センター長を募集（公募） ●図書館、ホール建設に興味をもつ ●代替施設を討議して市民に知らせる（公民館閉館中）。 ●センターの防犯対策を考える。 ●見本にしたい図書館、ホールを見学する。 ●市民ボランティアを募り名簿をつくる。 ●施設や理念を市民の一人一人によく知ってもらう活動 ●会館サポート支援金募集（ふる里納税と同様、記念品贈呈） 	
28 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●広報にて、各種準備会を募集 ●図書館運営委員会準備会発足 ●会館運営委員準備会発足 ●市民主催会館説明会（市長と市役所職員向け） ●図書館の総冊数は決まっているようですが、ジャンル希望を調査 ●会館オープンへのスケジュールの検討委員会募集 ●3つの施設を一本化して運営する方法を検討 ●どんな活動や運営を臨むかを多くの市民から出してもらおう。アンケート、聞き取り ●市内の各区の組織に働きかけて、区内の意見をまとめて話し合ってもらおう。 ●他の施設の先進的な実践の学習会 ●行政と専門家と市民グループがどう連携、分担するか、話し合いで大まかに決める。 ●ボランティアグループの定期的な会合で状況を話し合う。 	
29 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●PTAを通して、会館運営理念の浸透を図る。 ●図書館運営委員会を発足 ●子育て支援委員募集 ●まちなかへのアクセス方法を参画、協働で作成 ●オープンまでのスケジュールを広報にて報告。イベント参加者募集 ●会館の運営予算の検討(不要分を削り、必要分の追加) ●市民グループの役割分担や、可能な活動について一人一人から提案して、話し合い調整する。 ●ボランティアグループの定期的な会合で状況を話し合う。 	
30 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●オープニングセレモニーを手作りする。 ●小中学校で会館オープン前プレゼンテーション ●ボランティアグループの定期的な会合で状況を話し合う。 ●各委員会の全体会議 ●会館のオープンハウスを三日間程度行う（コーヒー無料）。 ●オープン記念子どもまつりを行う。幼児向けも行う。 ●オープン記念広場夜市。商店街共催 ●オープン時の記念イベントに参加 ●記念吹奏楽コンサートの開催 ●オープンすれば利用してみる。 ●記録を残して引き継ぎ、交代していくルール 	

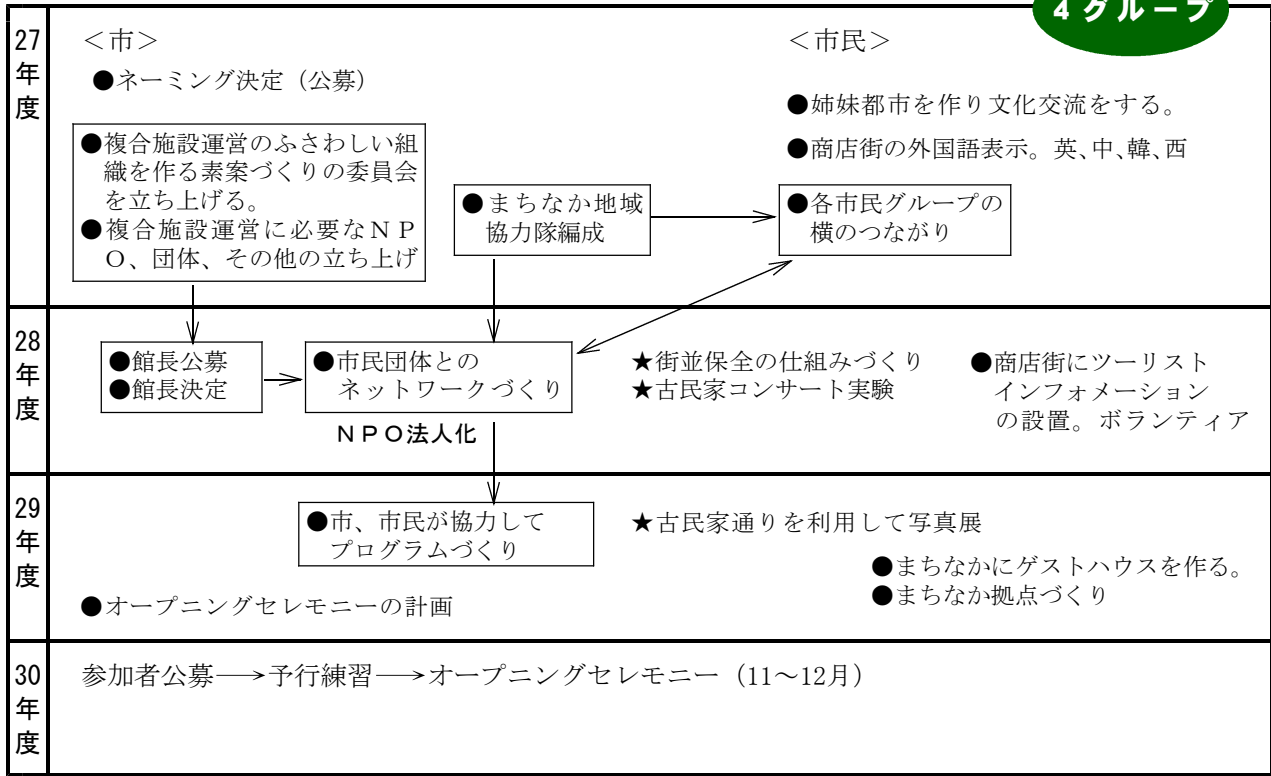
<1グループの発表から>

- ・施設の理念を徹底しておかないと、この建物を何で造ったのかが見えなくなってしまう。
- ・いろんな活動を集約するテーブルが必要である。
- ・建設中の公民館の代替施設の提供はあるのか。
- ・29年度にはオープニングのイベントについて詰めた議論が必要。また花火を上げておしまいでなくて、継続的なイベントが必要である。そのためにもサポーターを早くに募集し、開館後にスムーズにスタート出来るようにしたい。

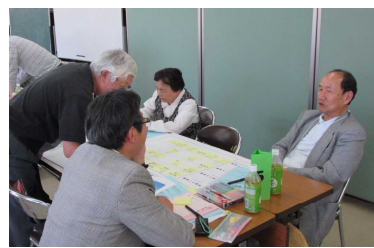
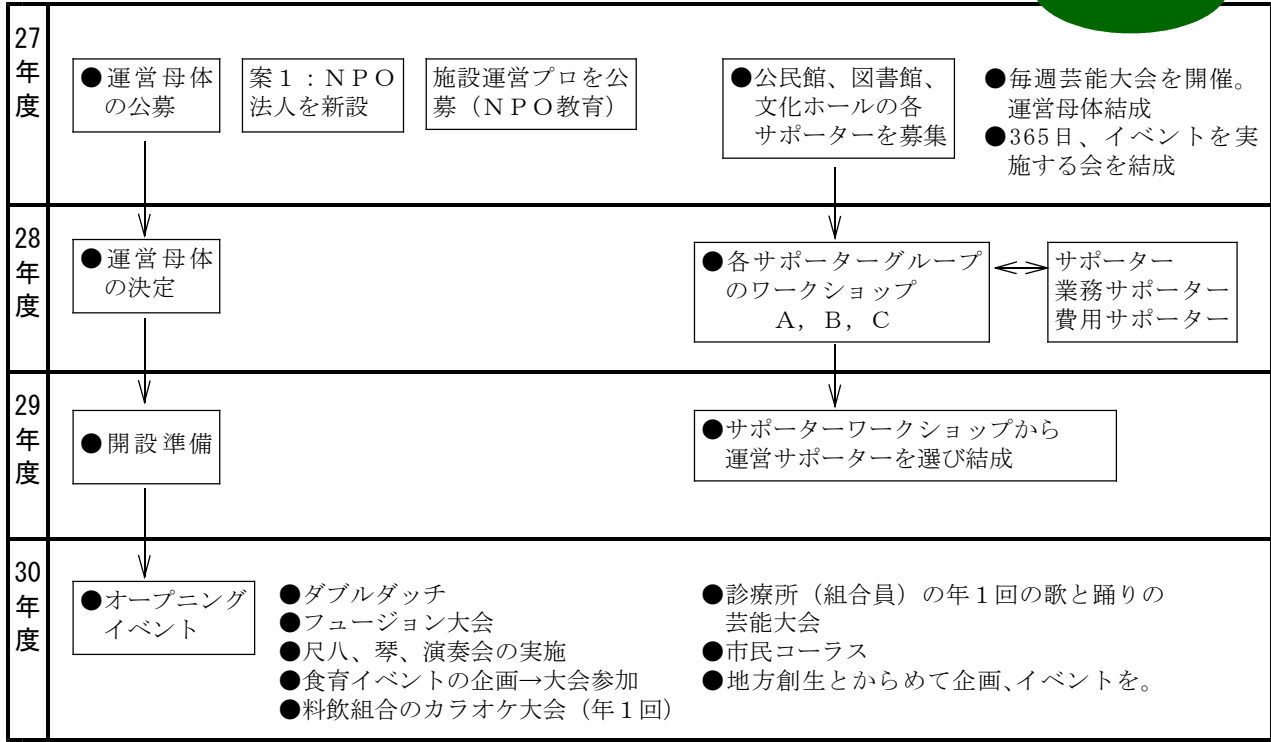
<2グループの発表から>

- ・市民にどのように知らせるかが一番大きい問題。
- ・管理運営の実施計画に市民の声を取り入れる。全国事例の学習、聞き取り等
- ・3年間をかけて土壌づくり、種まき、芽を育てるという3つをやる必要がある。
- ・ボランティア育成、専門家との連携、友の会などのサポート組織を育成する。
- ・事業計画と人材育成をやらないと、新しい市民達の活動の場にもならないのではないか。

4 グループ



5 グループ



27 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●設計の基本を冷静かつ客観的に見直すべきではないでしょうか。 ●代替施設案を早く示し、安心を得るべきではないでしょうか。 ●複合施設名、組織はどうなったか。検討案を示してほしい。 ●ボランティアの募集 ●指定管理採用か？（運営、責任を明確に） ●施設管理は早く指定管理制度を立ち上げ！天下り館長はいらない。アイデアのある人！ ●館長募集（天下りはなし。重要!!） ●郵便局用地買収を完了。将来の使用の展望が不明？
28 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●代替施設を安心して混乱なく使えること。 ●イベント企画委員会を設けるべき。 ●新施設の市民へのPR ●ワークショップの意見をよく見直す。
29 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館、文化ホール、公民館の案内 ●開館イベント模擬、シミュレーション実施 ●オープニング行事の費用準備。寄付？募金？ ●市民参加のオープニングイベントを企画 ●オープニング計画はワークショップで検討した経緯があり、まとめはどうなったか示してほしい。 <p>★4月：市長、市議選、国体</p>
30 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ●当日のイベント。各文化発表、小中学生の発表、趣味の会の展示 ●オープニング。保育所太鼓、各団体太鼓 ●まちなかとの協力。連動したイベントを。 ●屋台、バルーンアート、物産展も出展してほしい。 ●オープニングパレードの実施。ジャグリングetc. ●ぐんちゅう保育所、幼稚園とも!! ●完成時、何が市民にアピール出来るのか？



<3グループの発表から>

- ・ここで話し合ったことを私たちが主体になって市長と市職員に説明し、活動をサポートしてもらう。またオープン前に各小学校へ行き、プレゼンテーションをする。館長は公募し、主体意識を持つ。
- ・ふる里納税方式で資金を募集する。
- ・新しい本は大洲や松前に任せて、ここは皆さんから本を募って運営する。
- ・オープン前にはオープンハウスをして、コーヒーを振る舞う。商店街協賛の夜市をしても良い。

<5グループの発表から>

- ・施設運営のプロを公募して、その人に教育をしてもらうことが必要
- ・公民館、図書館、文化ホールそれぞれのサポーターを公募して来年度はワークショップし、そこから運営サポーター組織を結成する。
- ・365日、施設に行けば何かをやっているような運営母体を作る。常時その場を使っているのをアピールできないと、結局は造っただけに終わるのではないか。そのためにはプロの感覚も必要

<4グループの発表から>

- ・市民と市役所、サポートグループの3つが上手く機能することが大事である。
- ・小さい利点を生かした、質の高いものを実現できる館長を公募する。市民の関心を高めるため、ネーミングだけでも今年度中に公募して決定する。
- ・外国人のためのツーリストインフォメーションの設置、商店街の外国語表示、姉妹都市の提携
- ・まちなか中心部全体を利用するような、面で全体に広がるような仕掛けを29年度頃からやる。オープニングセレモニーは半年くらいやっても良い。

<6グループの発表から>

- ・郵便局の用地買収は将来の展望が変わるので、具体的に進めてほしい。
- ・28年度にイベント企画委員会を設けて、新施設についてのことを検討する。
- ・オープニングには多大な費用がかかるので、寄付等を検討する。
- ・市民のためのスペースなので、市民参加のオープニングイベントを企画する。子ども達の参加企画や、町中の商店街とも連動したイベントをする。
- ・何を市民にアピール出来るかが肝だと思う。

一人一人から、ワークショップに参加して感じたことをお聞きしました

ワークショップに参加して感じたことや施設のオープンに向けて自分ができること、したいことなどをみなさんの前で発表していただきました。

各層の小学生を含めた我々の年代、70台くらいの方、皆様の意見がよく分かりました。大変参考になり、勉強になりました。ありがとうございました。我々は公民館活動をやっております、1ヶ月に1日だけですが利用しております。各文化協会に入られているドジョウすくいとか絵手紙とか、いろんな会がありますがそういうところも利用されているようなので、出来ればこの建設期間中にどこを利用したらいいのかというのが我々の大きな問題なので、行政の方、伊予市の公民館の各集会所も含めた情報を、是非開示、教えて欲しいと思います。料金も含めた利用頻度も含めたようなものをお願いしたらと思います。

初めてこういう会に参加したんですけども、一歩前に行く大切さというのをワークショップで教えていただきました。「出来ないのではないかな」ではなくて「何か出来るかもしれない」という思いを誰かに伝えることは大切なんだと。今後の活動についてもそのことを考えて活動したいと思っています。

公民館施設、あるいは図書館、文化ホールの建設ですが、非常に複合的な施設であったために活発な意見もあり、いろいろな設計変更で皆さん、ご苦労されたことと思います。改めてお礼申し上げたいと思います。伊予市には古代の、例えば三角縁神獣鏡、卑弥呼の鏡が発見された地であり、三世紀の伊予は中央とのつながり、大陸との交流があり、グローバルやローカルの接点になった場所だと思います。そういう面から見て、伊予市のこれからの文化に生かしていけたらと思います。

今回の施設整備をきっかけに、次の世代の人達が、伊予市に住んでいて良かったというような町にしてもらいたいと思いますし、そのためには我々が頑張っってそういう仕組みづくりをしないといけないと思っていますし、今までの公共施設の、とくに文化施設のあり方について、とにかく伊予市が誇りを持って進み続けられる町であり続けてほしいと。1年で10回のワークショップにも参加してもらいましたし、今後も時間が許す限り、お手伝いさせていただいたらと思います。

こちらに縁あって来まして16年になりました。こういう風な機会はなかなかないので、とても喜んでおります。市民公募、大賛成です。もし、こけら落としがあるのなら私たち、大正琴で参加させてもらいたいと思います。よろしくお願いいたします。

ワークショップに175名もの登録で10回やれたことは、非常に伊予市にとっては画期的で、歴史に残るのではないかと。これがスタートですけれども今、これが1つの大きな喜びでした。今度の施設を単なる貸し館にしてはいけないというのがスタートです。我々が運営していくと覚悟を持ってやらないといけないと思います。先日も文化協会に徳永先生に講演をしていただいたんですが、公募による民間館長のリーダーシップやマネジメントは不可欠ですよ。サポーターあるいはNPO法人が役割を果たして、運営委員会やアドバイザーなどの組織が出来て、友の会やボランティアの組織が出来ている、そういうところが全国的に稼働率80%、90%の施設を作り上げている仕掛けなんです。ですから私たちは自治基本条例に基づいて、市民一人一人が参加して、これを行政任せにせず、これから私たちが本当の意味で出番になる、そういう施設にしていきたいと思っています。28億円の建設費です。恐らく2〜3億の維持管理費がかかってくるわけで、それが単なる将来の負担にならない、未来への投資につながるように、新しい伊予市の運営方式や事業計画づくりを全国に発信出来るような施設に是非していきたいと思っています。文化協会も事業費を稼ぐために一般社団の法人化を考えておまして、伊予市の財政だけではなかなか無理ですから、いろんな民間や文化庁や地域創造の資金も活用してやっていきたいと思っています。

今日残念なのは、子どもさんがおらんのですよ。私は県で3カ所、新しい施設の企画運営をしてきたんですが、全部、小中学生のアイデアをいただいているんです。行政の方をお願いしたいのは、我々は新しい施設が花咲く頃にはおらんのですよね。だからこれからそれを使う人の意見、これを大事にしたいです。

これまで行ったワークショップの内容を生かして、3年の期間の間にいいスタートが切れるようにと思います。

半分くらいしか参加出来なかったのですが、大変魅力的な会でした。きっと立派な施設が出来るということを確信しております。けれども正念場は今からだと思います。新しく出来た施設が本当に市民の施設になるように、自分らの施設が出来たと、本当に市民の一人一人が、一部の人ではなくて大部分の人に喜んでもらえるような運営をこれからみんなで力を合わせてやっていくことが大事ではないかと思っています。

私は図書館のことについて特に意識があって、他のことはあんまり考えませんでした。図書の利用者と館の利用者は違うんですね。幼児はお母さんと来て図書の利用者にはなりませんけど、館の利用者にはならないんです。館の利用者になっているのは学生と高齢者です。高齢者の人を館の利用者にする、福祉の費用が相当助かります。大洲にはスポーツ紙が置いてあるんですが、そのスポーツ紙を見に、足の悪い人が杖をついて自転車に乗ってくるんですが、その人が見ているのは大半、女の子の裸ですわ。あれを毎日見に来る。それでどれだけ健康になっているかと思えます。それから学生用の館ですね。最新版の図書については大洲か松前に行って下さいくらいのメリハリを付けた方がいいと思います。

最適な施設になるように、出来る範囲で関わっていきたく感じました。

このワークショップはほぼ参加させてもらったんですが、各分野の人達のお話が聞けまして、非常に参考になりました。一つだけ要望しておきます。センター長は必ず公募でお願いしたいと。これは必ずやっていただきたいと感じました。よろしくお願いいたします。

設計者あるいはその他の専門家の方々が、市民と近い距離でこれだけガンガン議論して、設計図を作り上げていくということは、私にとっても非常に意義深い経験になりましたし、見ているとだんだん引き締まって、いい建物になってきたような気がします。大変いいものが出来ると思えます。期待しております。

私は全日本ピアノ指導者協会ピティナに所属しております。年1回、市民会館の方で行事をさせていただいております。活動としては伊予市の小学校に8人くらいピアニストに行っていて、教室で学校クラスコンサートをやらせていただいております。元々このホール建設のワークショップに参加したのは、いいピアノを入れてもらおうということでしたが、参加するにつれて皆さんの熱い気持ちが伝わってきて、私自身、伊予市に住んでいて何とかしなければいけないという気持ちがどんどんわき上がってきたというのが正直なところ。これからは文化芸術の進行をどんどん進めていかないといけないと思うんですけれども、今回、ピティナのスタッフと一緒に、鍵盤ハーモニカを使った中高年対象のサークルを立ち上げようと計画しておりますので、皆さんよろしければ是非、息を使いますので健康にも良いと思いますのでご参加いただけたらと思います。

今日入れて10回のワークショップで、市民の方皆さんが話し合った意見がいろいろ出たことを、行政側がいかに反映してくれるかが頼みの綱ですので、よろしくお願いします。

今日は郡中小学校が参観日だったので生徒さんが見えなくて寂しかったです。私は近くに住んでおりますので、3年後元気であれば、ボランティアでトイレ掃除とか草引きとかありましたら言っていただけたらと思います。

公民館が郡中にはないので、ここに新しく出来るということで非常に期待してはいたんですが、結果的にはどこかに消えてしまいました。残念ではありますがありません。

今回、このワークショップにはなかなか参加出来なかったんですけど、本当にスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。伊予市って本当にすごいなと実感しました。ありがとうございました。



この施設が成功するかしないか、一つはちゃんとした運営のプロが参加するかどうかだと思います。二つ目は365日、必ず何かをやっていること。「今日、晩飯が済んだら行ってみようか」という感覚にしないと、追々先細りになっていくと思います。そのためには金が要ります。今、伊予市に住んでいないOBの人達に働きかけて、毎年1万円ずつ寄付してくださいということ全員を署名付きで送る方法もいいのではないかと思います。

昨日観た映画では、素晴らしくて敵わないという言葉が素敵だそうです。素敵な図書館や文化ホールが出来るのはいいんですけど、箱物だけ出来てもそれを生かさない、使わないと全然ダメなので、先ほど365日とありましたけど、せめてお正月は休ませて360日、ホールも身近な人が同窓会でも何でもどんどん使ったらいいと思うんですよ。使えば愛着がわいてくるので、是非ともそういう施設になるようによろしくお願いします。

この建物、仏つくって魂入れず、使っていたみてみんなにああ良かったなと思える施設を造ってもらって。要するに管理者がいかにして施設を上手に使い、伊予市民が満足できるか。そういうところも是非考えていただきたいと思います。特に職員の皆様、辞める方も3年後にはいると思いますが、残っているメンバーは特に。

残念に思うのは、出席者がバラバラであったりメンバーが替わったり、小中学生が全くなかったり、寂しい思いはしました。これは伊藤先生、宍田先生の牽引力、あるいは誘導力というものが大きな力になったと思います。たった10回の会議で、これだけの施設ができるということは稀にない効果ではないかと思っています。ただ一つ、私は宍田先生にも伊藤先生にも前々から申し上げておりましたが、ちょっと設計面でわだかまりを持ってあります。このわだかまりを消すためには意見を言う場がありませんでした。今日は市長へのメッセージがありましたから、直訴ということで書かせていただきました。一つよろしくお願ひしたいと思っています。

建設にはとても関心を持っていましたので、特に図書館に関心を持っておりましてのでいろいろと参加させていただいたんですが、皆さんの意見、旧伊予市、双海、そういう方々のいろいろな意見があつてすごく勉強になりました。こういうような機会がなかったら皆さんの意見を聞けなかったんだなと思っております。市の役員さん、設計事務所の方のご苦労も感じました。いろいろな意味で、皆さんのことが聞けてすごく小さい体であります、たくさん吸収させていただきました。とても楽しみにしております。

まとめ

最後に、これまで10回のワークショップで生まれた新しい施設計画への思いを、『市長さんへのメッセージ』カードに書いていただきました。



市長のリーダーシップに期待している



- 今回の複合施設は大事業である。ハードも利用する立場では大切であるが、それ以上にソフト（運営方法）が大切と思う。市長の考え方が方向性を決めるでしょう。リーダーとして市民の先頭に立ち、文化の推進を願います。但し税金の注入はMIN^{※5}にして下さい。WSの意見の採択もよろしく。全体的な視野で…。
- 中村市政から武智市政に代わって、図書館・文化ホール・郡中地区公民館の複合施設が出来ることに安堵しております。
- ワークショップ、ありがとうございます。365日、毎日笑顔のたえない市民主体の施設となるよう、リーダーシップをお願いします。地方創生のシンボルのひとつとなるように。
- 市職員の方すべてに思いを伝えて下さい。
- 新しいホール設備からの情報発信を、市長さんに先頭に立ってお願いできれば幸いです。今治を参考に、新設備から上灘、下灘経由で長浜、赤橋までサイクリングロードとして整備して頂ければうれしいです!!

※5 MIN…minimum (ミニマム)。最小。最小限。最低限度



市民の思いを形にして欲しい



- ワークショップに7回位参加させて頂きました。市民の要望になるべく沿って戴き、素晴らしい施設が完成する様、楽しみに待っています。大変でしょうが努力して下さい。
- 素晴らしくて敵わないのが「素敵」という言葉らしいです。「素敵な」図書館、文化ホールが完成しますように。心から願っています。P.S. 駐車場近くにトイレ設置を!!
- 1年かけて行ったワークショップの内容を生かし、これからオープンまでの準備をしっかりし、いいスタートになるよう願います。
- このワークショップに第3回~今回まで、8回参加させて頂きました。回を重ねるにつれ、伊予市における芸術文化を振興することが重要だということに気付きました。その拠点として今回建設の施設があると思います。市民が様々な活動をするためにも、設備の充実は大変重要ではないでしょうか。具体的にはコンサートピアノも、より質の高い物を入れ、やりたいことができる環境作りをして頂きたいと思います。仏作って魂入れずにならないことを願っています。これから市民の力をフルに活用できるシステムを、是非考えていってほしいと思います。
- 仏つくって魂入れず。わかっとるか!!
- 市民が主体となって建築行為、運営行為を行うことが実現すれば、画期的なことになります。本気で取り組んで下さい。
- 平成30年11月オープンまであと3年です。①管理運営実施計画の細部の検討とともに、早急に「準備室」をつくることが求められます。職員を継続して配置すること。②一元的に管理、運営していくための「組織計画(直営、指定管理)」について、集中して検討して方向性を出していく必要があります。財団、株式会社設立も含めて。③人材育成、市民のボランティア、友の会、NPOなどをつくりあげないといけません。市民力が試されています。④民間館長の全国公募、専門家の協力が不可欠です。
- 若い施設ができるのですから、老人の意見を抑えて、若者の意見をよく聞いて、運営方針を立てて下さい。この施設に大輪の花が咲くころには、老人はこの世にいませんので。
- 伊予市の発展のために、この文化施設が本当に生かされるよう、市民の声をきめ細かく聞きながら施策を進めて下さい。
- WSに参加して、楽しい時間をもちました。各分野の人々のアイデア、考え方を聞かせて頂き、勉強になりました。市民のアイデアのつまった図書館、文化ホール、公民館の建設に期待しています。完成する頃まで元気でいたいし、そのように体調管理もして、頑張っていきたいと考えています。市民の夢を乗せてスタートしたこの集まり、期待しています。若い人達が住みなくなるまちへの橋渡しとなるセンターづくりを!!お願いします。



計画に対する要望



- 私はこの設計については基本的に反対の立場を一貫して参りました。私は伊予市囲碁クラブの事務局として、みんな(会員)が安心してかつ楽しく使える施設でありたいと願っている者です。本設計案を賛成する妥協案として、和室の広さ、位置を学習コーナーの横にあるアトリエの場所に8畳2間(床間付き)の部屋をつくり、位置替えをする。これにより2階部分の風格が上がり、使い易い施設になると考えております。学習コーナーはその横に作る。但し転落防止策を取り入れておくべき。この心配を除くため、吹き抜けをフロアにする。この件が取り入れられれば賛成とする。
- 文化ホール建設までに必ず郵便局の施設の買い取りをして下さい。市長の長期政権につながるかと確信します。
- この度の建設ワークショップでも話題が上がっております、交通の利便性を強く希望いたします。足がないと立派な図書館、文化ホールが出来ても来れないと利用出来ません。後生に残る建物です。皆が利用出来る様に実行してほしいと思います。よろしくお願い致します。

